



高輪だより

令和7年度2月号
港区立高輪幼稚園
園長 佐々木勝世

わくわく ぽかぽか
みんなえがおの
たかなわようちえん



開園50周年記念行事を終えて

去る1月24日(土)に、本園の開園50周年をお祝いする記念式典、子どもたちによる「お祝いパーティー」、実行委員会が主催する祝う会が執り行われました。式典にはおよそ100名のご来賓がお越しください、改めて本園が多くの方々に見守られ、支えられていることを実感しました。

記念式典には、園児を代表して5歳児が参加しました。式典に続く「お祝いパーティー」では、体育館中に響く大きな声で、高輪幼稚園の素敵なお話を発表した後、今、自分たちが楽しんでいることとして、短縄跳び、ドッジボール、アルプス一万尺の3つの遊びを実演で紹介しました。3、4歳児も途中から加わり、歌や踊りでパーティーを盛り上げました。ご来賓からは「5歳児が立派でしたね」「まさにパーティーという感じで、子どもらしい笑顔いっぱいの表現が見られてよかったです」といった感想をいただきました。

このお祝いパーティーの内容は、5歳児の学級担任と子どもたちが中心となって考えたものです。周年行事は当然のことながら教育活動の一環です。やらされるのではなく、子どもたちが主体的に取り組める活動にしたいと考え、年度当初から教員が工夫して子どもたちの「幼稚園の50歳をお祝いする気持ち」を高めてきました。【**自分もみんなも笑顔になれる**】アイデアを出し合い、よりよいものにするために工夫し、準備を進めて、友達と一緒に実現する。【**一人ではできないことでも、みんなで力を合わせればできる**】。本園で大切に、目指してきたこれらのことを、子どもたちが見事に体現してくれました。そして、5歳児のこのような姿を間近で見てきた4歳児は、きっと自分たちが年長組になったときに「前のすみれ組さんはこうしてた!」と思い出し、その背中を追いかけ、追い越そうとすることでしょう。50周年という巡り合わせが、子どもたちの成長を促す貴重な機会を与えてくれたことに感謝します。

園では現在、今年度の教育活動の反省や、保護者・関係の皆様にご回答いただいた学校評価の結果を踏まえ、次年度の教育計画を検討しています。今年度の実践を土台に、より質の高い教育の実現を目指してまいります。

園長 佐々木 勝世



式典当日朝の5歳児。投げゴマで遊んでいました。その後、会場に行き、大活躍しました。



前日リハーサルの様子。3、4歳児も、生き生きとした表情でお祝いパーティーに参加し、たくさんのお拍手をいただきました。



現・元保護者の有志が、50周年をお祝いする素晴らしい装飾を作ってくださいました。

高輪幼稚園では、子どもたちの生活の様子や、その中にある「学び」について、積極的に発信しています!

【ホームページ】 <https://takanawa-kg.minato-tky.ed.jp>

【X(エックス)】 <https://x.com/takanawakg>



ホームページ



Xエックス